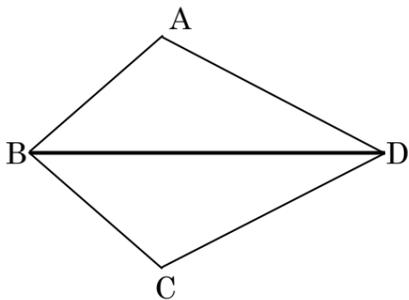


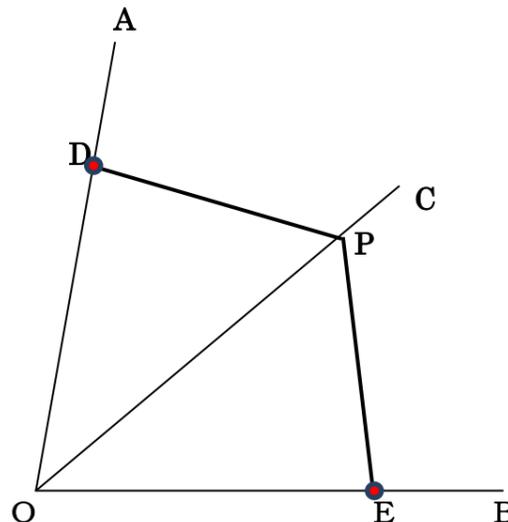
次の問題を証明しなさい。

ア



ア

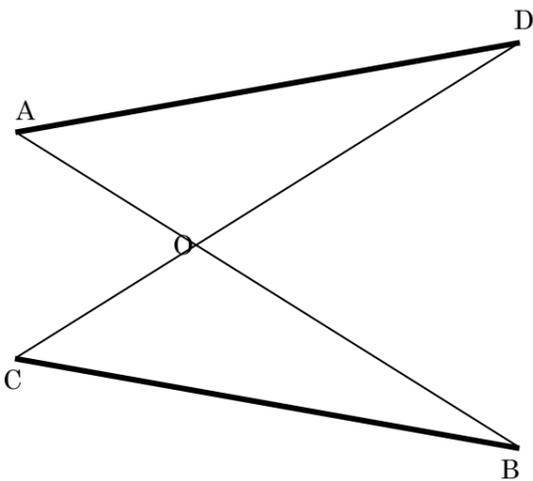
四角形 $ABCD$ で、
 $AB = CB$ 、
 $AD = CD$ ならば、
 BD は $\angle ABC$ を 2 等分する



エ

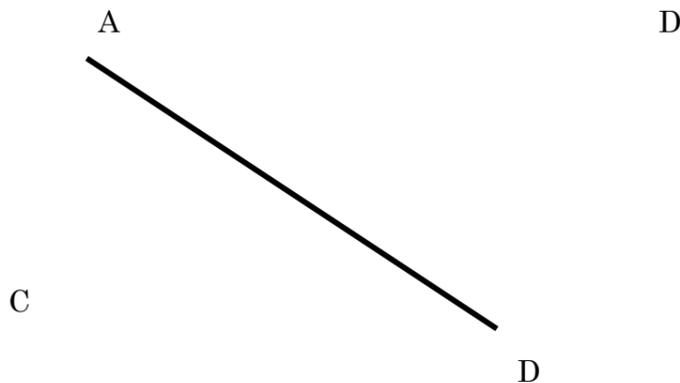
OC が、 $\angle AOB$ の二等分線で、
 $OD = OE$ であるとき、
 $PD = PE$ である。

イ



イ

長さの等しい 2 つの線分
 AB 、 CD が
 点 O で交わっていて、
 $AO = CO$ ならば
 $AD = CB$ である。

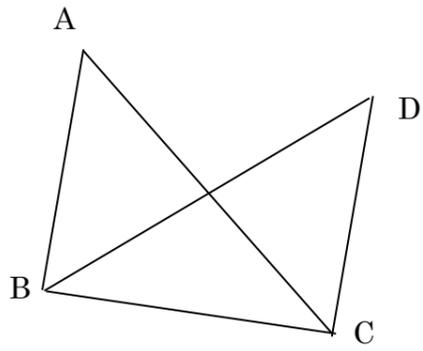


ウ

線分 AB 、 CD が
 中点 O で交わっている時、
 $AC \parallel BD$ である。

次の問題を証明しなさい。

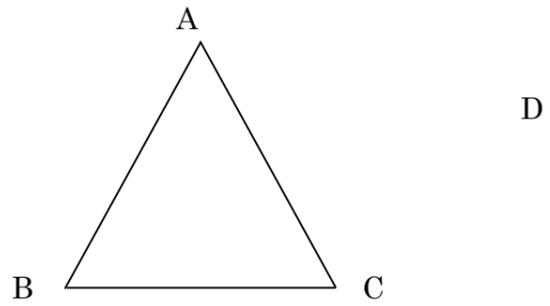
カ



カ

$\angle ABD = \angle DCA,$
 $\angle ABC = \angle DCB$ ならば
 $AC = BD$ である。

ケ

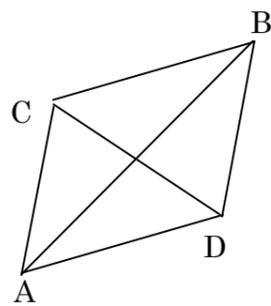


ケ

$AB = AC$ である三角形の
 辺 AB, AC 上に点 D, E を
 $BD = CE$ となるようにとれば
 $BE = CD$ である。

キ?

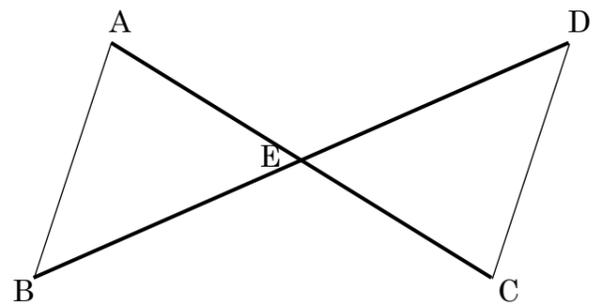
ク



ク

点 M は線分 AB の中点で、
 $\angle A = \angle B,$
 $\angle AMC = \angle BMD$ ならば
 $AD = BC$ である、

オ

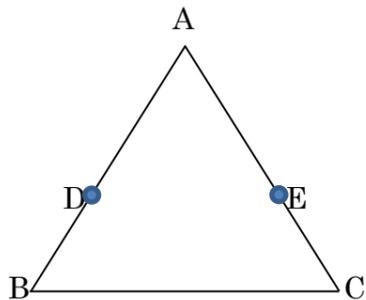


オ

$AB \parallel CD,$
 $AB = CD$ であるとき、
 交点 E は、
 AC, BD の中点になる。

次の問題を証明しなさい。

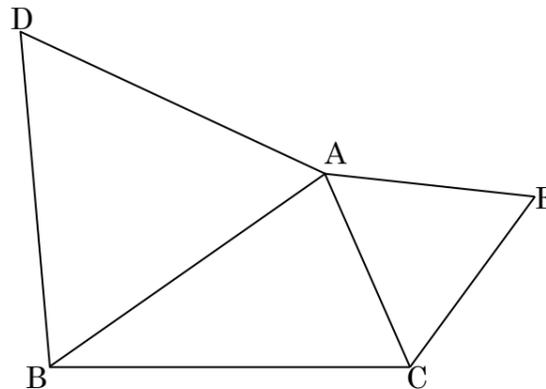
サ



サ

$\triangle ABC$ において、
 $\angle B = \angle C$ 、
 $BD = CE$ ならば
 $BE = CD$ である。

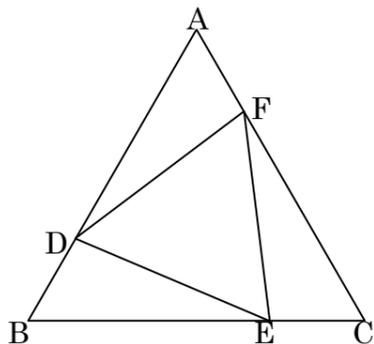
ス



ス

$\triangle ABC$ の辺AB, ACを
 それぞれ1辺とする
 正三角形ABD, ACEをつくる
 と
 $BE = DC$ である。

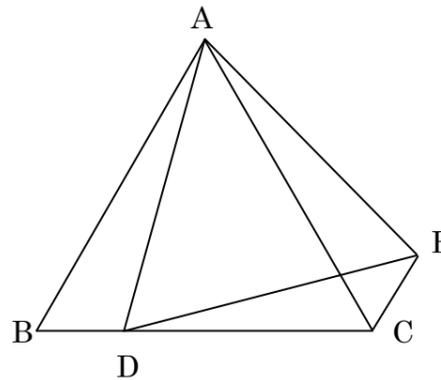
シ



シ

正三角形ABCの
 辺AB, BC, CA上に
 $AD = BE = CF$ となるような点
 D, E, Fをとるとき、
 $\triangle DEF$ は正三角形になる、

ソ

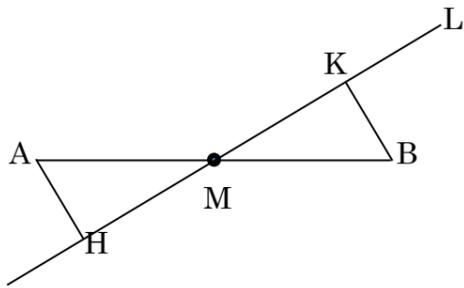


ソ

$\triangle ABC$ と $\triangle ADE$ が
 共に正三角形であるとき、
 $\angle ACE$ が 60° である。

次の問題を証明しなさい。

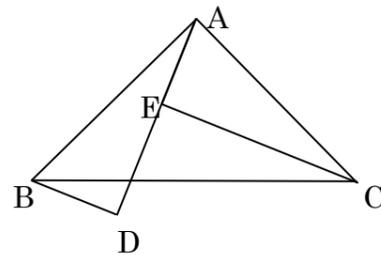
タ



□

線分 AB の
 中点 M を通る直線を L とし、
 線分の両端 A, B から直線 L に
 それぞれ垂線 AH, BK を引くと、
 $AH=BK$ である。

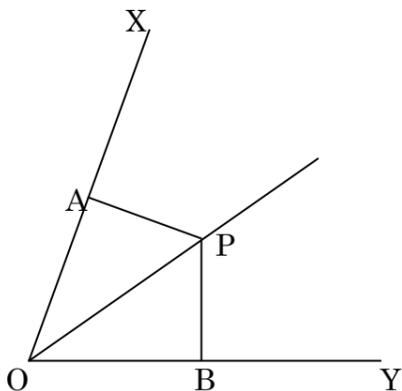
ツ



□

直角二等辺三角形 ABC の
 直角の頂点 A を通る直線 L に
 B, C から垂線 BD, CE を引くと
 $AD=CE$ である。

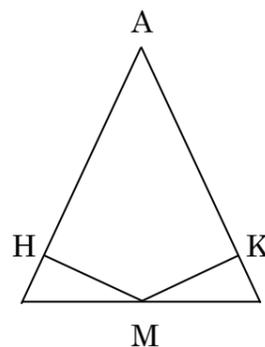
チ



□

$\angle XOY$ の二等分線上の点 P から
 2 辺 OX, OY に下ろした垂線の足
 を A, B とするとき
 $PA=PB$ である。

テ

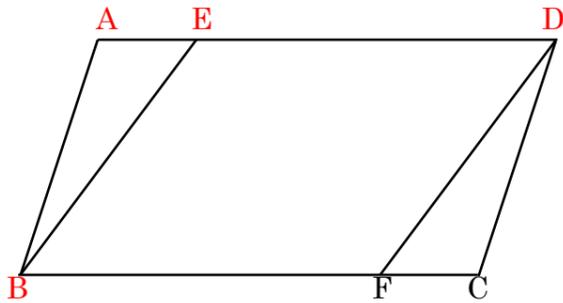


□

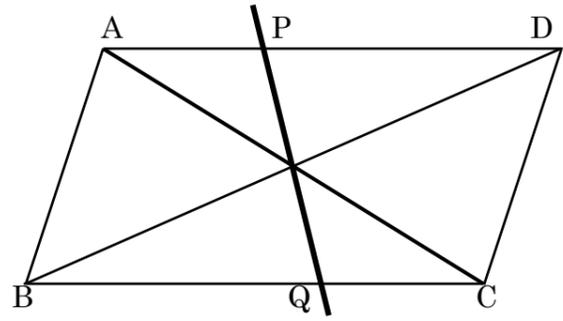
二等辺三角形 ABC の
 辺 BC の中点 M から
 辺 AB, AC に引いた垂線を
 それぞれ MH, MK とする。
 このとき、 $MH=MK$ である。

次の問題を証明しなさい。

ナ



ヌ



ナ

平行四辺形 ABCD において
辺 AD, BC 上に点 E, F を
 $AE=CF$ となるようにとる。
このとき, $BE=DF$
であることを証明せよ。

ヌ

平行四辺形 ABCD で, 対角線
の交点 O を通る直線をひき, 2
辺 AB, CD との交点を
それぞれ P, Q とする。
このとき, $OP=OQ$ となる。

ニ

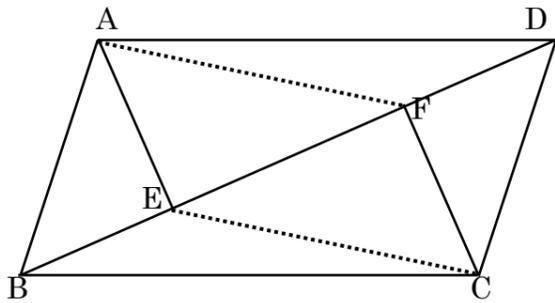


ニ

平行四辺形 ABCD の
頂点 B, D から
対角線 AC におろした垂線の足
をそれぞれ E, F とする。
このとき, $BE=DF$ である。

次の問題を証明しなさい。

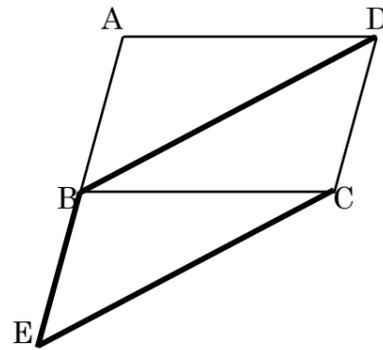
ハ



ハ

平行四辺形 ABCD の
頂点 A, C から
対角線 BD に垂線をひき
BD との交点を
それぞれ E, F とする。
このとき、四角形 AECF は平
行四辺形である

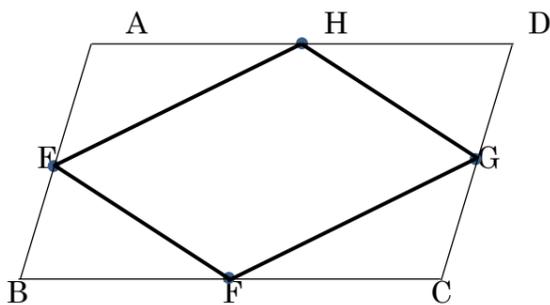
フ



フ

平行四辺形 ABCD の
AB の延長上に、
 $BE = AB$ となる
点 E をとる。
このとき、四角形 BECD は平
行四辺形である

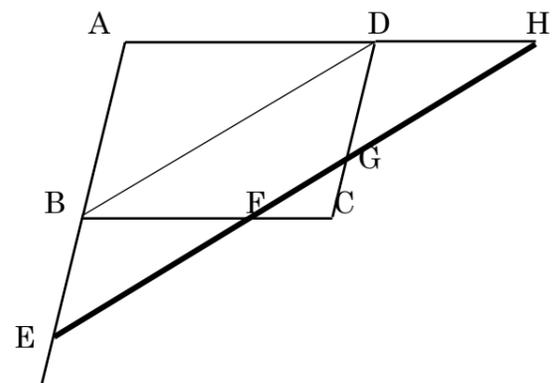
ヒ



ヒ

平行四辺形 ABCD で、
4 辺 AB, BC, CD, DA
の中点をそれぞれ
E, F, G, H とする。
このとき、四角形 EFGH は平
行四辺形である。

ヘ

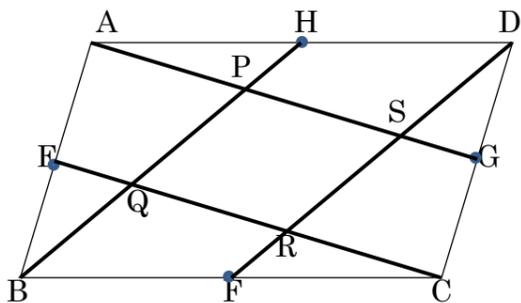


ヘ

平行四辺形 ABCD の
対角線 BD に
平行な直線をひき、
辺や辺の延長との交点を
E, F, G, H とする。
このとき、 $EF = GH$ である。

次の問題を証明しなさい。

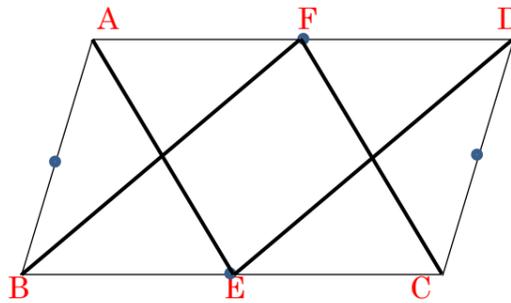
マ



マ

平行四辺形 ABCD の
4 辺の中点を E, F, G, H と
する。このとき、
AG, BH, CE, DF
で囲まれた四角形 PQRS は
平行四辺形である

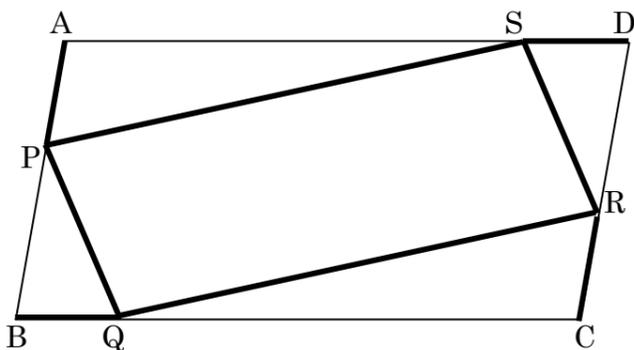
ム



ム

四角形 ABCD と
四角形 ABOE は
どちらも平行四辺形である。
このとき、
AD と OE は中点で交わる

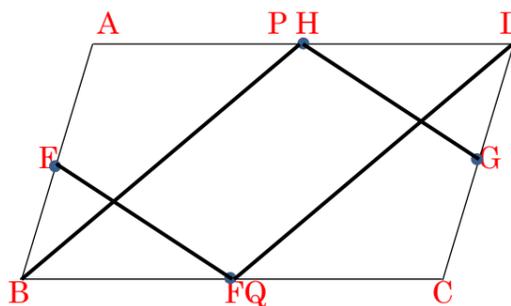
ミ



ミ

平行四辺形 ABCD の
辺 AB, BC, CD, DA 上に
点 P, Q, R, S をとり、
 $AP = BQ = CR = DS$ とする
このとき、四角形 PQRS は平
行四辺形である

メ

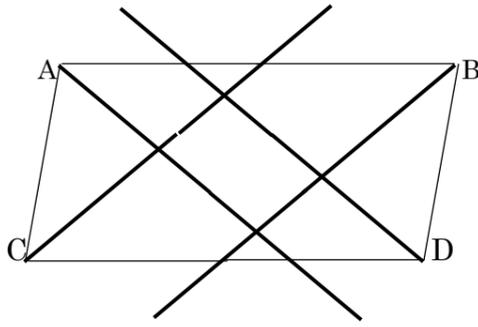


メ

台形 ABCD で
対角線 AC の中点を O とし、
2 点 D, O を通る直線が
BC と交わる点を E とする。
このとき、四角形 ABCD は
平行四辺形である

次の問題を証明しなさい。

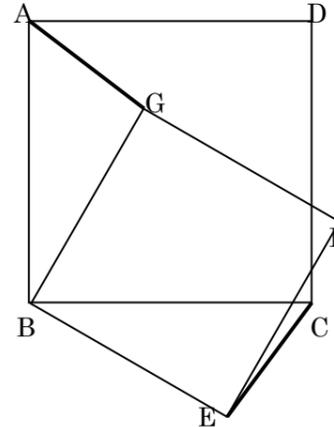
ラ



ラ

平行四辺形 ABCD の
4つの角の二等分線によって
囲まれて出来る四角形は
長方形である。

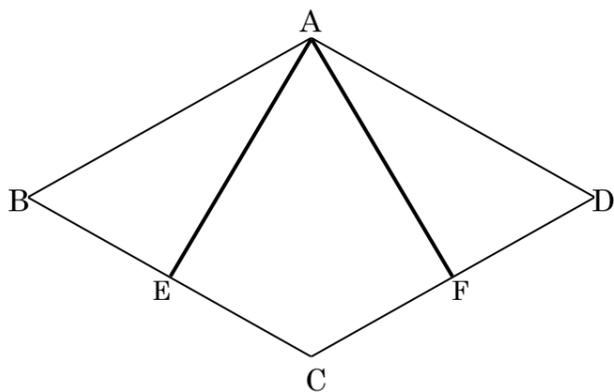
ル



ル

四角形 ABCD と
四角形 BEFG は
どちらも正方形である。
このとき、 $AG = CE$ である

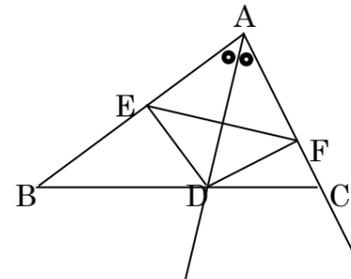
リ



リ

ひし形 ABCD において
辺 BC, DC 上に
 $BE = DF$ となるように
点 E, F をとる。
このとき、 $AE = AF$ である

ト



ト

三角形 ABC の
 $\angle A$ の二等分線と
辺 BC の交点を D とし、
D から、辺 AB, AC にそれぞれ垂
線 DE, DF を引くと
 $AD \perp EF$